

9 人間科学部

I 教育理念と人材育成の目的

建学の精神並びに北海道文教大学の教育理念・目的に則り、全ての人が持続可能な社会の実現に向けて、健康的で豊かな人生を送るため、食・栄養・保育・学校教育・社会教育分野及びその周縁に当たる分野に関する専門知識・技能を有し、社会の変化に柔軟に適應できる人材を養成することである。このことは国家的要請に沿うものと考えられ、将来にわたる食と健康、学校教育、社会教育に携わる人材の育成には、それぞれの分野に対応した専門知識・技能に加え、データサイエンスを基盤としたデジタル化に対応し、多様な主体との連携に主眼を置き、理論と実践の融合からグローバルな視点を持つことができるよう教育課程を構築することが必要であると考える。

具体的には、以下の(1)から(4)に掲げる人材養成を目標とする。

- (1) 食・栄養・保育・学校教育・社会教育分野に対応した専門的知識・技能及びそれらの基盤となる教養を有した人材
- (2) 多様な主体と連携・協働を図るためのコミュニケーション能力を有した人材
- (3) 社会の変化に適應しながら、人間生活に及び諸課題を発見し、その解決に必要となる情報の収集・分析を行い、理論的又は実践的なソリューションを提示できる人材
- (4) 持続可能な社会の実現に向けて、個人の価値観を尊重した健康的な生活の確保、及び質の高い教育の在り方について、生涯にわたり考究できる人材

II 教育課程の基本方針

学位授与方針（ディプロマポリシー）を達成するための基本方針は以下の通りである。

- ① 4年間の一貫教育：人間科学部では、卒業と同時に国家試験受験資格や教員資格の取得を目的としている。このため、教養科目・専門基礎科目・専門科目を入学から卒業までの4年間で順次、調和の取れた教育課程を編成し、幅広い教養を培い、専門性を高めるための科目を配置している。
- ② 教養教育の重視：人間科学部では、豊かな人間性、健全な社会性を育み、高度な専門職を養成するため、社会の成り立ちや生活、文化、外国語など幅広く学修できる教養科目を配置している。
- ③ 学外実習の充実：高度な専門性を身に付けるには、大学で学んだ知識と技術、原理と方法を、実際の現場において実践することが必要である。本学では多くの学外実習施設や指導者と連携し、専門職養成に必要な学外実習の充実を図っている。
- ④ 進級・卒業要件の厳格化：人間科学部では高度な専門職を養成するため、学年ごとの必要単位・進級や卒業の要件を厳格に定めている。このため、学生は日頃から計画的な学修が必要である。

III 教育課程の構成と概要

上述の目的を達成するために人間科学部の教育課程は(1)教養科目、(2)専門基礎科目、(3)専門科目から構成されている。人間科学部の教育課程は(1)教養科目、(2)専門基礎科目、(3)専門科目から構成される。人間科学部における教養教育は、保健・医療・福祉・教育にたずさわる者に必要な、豊かな人間性・社会性と高度な教養を身につけることを主眼においている。そこで、教養科目は各学科とも「人間と文化」、「社会と制度」、「自然と科学」、「外国語」、「スポーツと健康」、「総合領域」の6分野から構成されている。

専門基礎科目、専門科目については各学科で説明する。